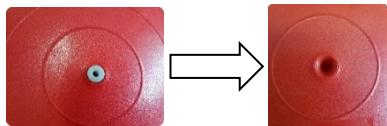


空気の注入方法

◎ 桜の種類・付属品はボールの種類により異なりますが、多くの場合、 この桜を使用します。桜は2本（1本は予備）入っており、そのうち1本はギムニクボール本体についた状態です。

1. 桜を本体から抜きます。



《桜が抜けにくい場合》
[プラグホルダー（別売）](#)



もございます。

2. 本体に空気を入れます。

1) ハンドポンプ（別売）をお持ちの場合

付属のジョイント は不要です。そのままハンドポンプを空気穴に差し込み、空気を注入してください。弊社取扱い製品の[ハンドポンプ](#)は、押しても引いても空気が入るダブルアクション仕様なので、スムーズに空気を注入することができます。



2) ねじ切りのついた空気入れ（自転車の空気入れ等）をお持ちの場合

付属のジョイント を使って空気を注入できます。

- ・空気入れの先端部分を外します。（画像ⒶⒷ）※空気入れの種類によって違いあり
- ・ジョイントのねじ切り部分を空気入れに取り付けます。（画像Ⓒ）
- ・ジョイントを空気穴に差し込み空気を注入してください。（画像Ⓓ）

画像Ⓐ

画像Ⓑ

画像Ⓒ

画像Ⓓ



3. 本体に桜をさします。

（空気を注入後、桜を差し込みますが、）ギムニクボールには空気の逆流防止弁がついていないため、素早く桜をささないと空気が抜けてしまいます。そのため、お使いになりたいサイズよりも少し大きめになるように空気を注入し、空気入れを外す際に一旦利き手とは逆の親指でボールの空気穴を押さえてください。その後、利き手で桜を持ち、空気穴を押さえている親指を離すと同時に素早く桜をさしてください。